

第195回キヤンサーボード

第5回 がん地域連携カンファレンス

日時：2018年2月7日(水)

18:00～19:00

場所：横浜市立大学附属病院4階第1会議室

JR「新杉田駅」、京浜急行「金沢八景駅」より
シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩1分

高齢化により生活環境が大きく変化する中、地域における医療・介護の総合的なとらえ方が大きな課題となっており、生命の尊厳が問われてきています。今回のキヤンサーボードでは患者の意向を尊重し、医療を継続したまま在宅療養へ切り替えた事例を通して、病院の医療から在宅医療へのバトンリレーについて考えたいと思います。

事例紹介：横浜市立大学附属病院 外科治療学 講師 佐藤 勉
横浜市立大学附属病院 7-1病棟 看護師 福井 鮎子

事例提供者：横浜市立大学附属病院 福祉・継続相談室看護師 清田 みゆき

発言者：かまくらファミリークリニック院長 栗原 大輔
公益財団法人 逗葉地域医療センター訪問看護ステーション 管理者 磯田 信子
やさしい手逗子居宅介護支援事業所 ケアマネジャー 山田 薫

Hot tea & coffee
ご用意しております

主催：横浜市立大学大学院医学研究科 多様な新ニーズに対応する
「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン

共催：横浜市立大学附属病院医学・病院企画課, 福祉・継続看護相談室